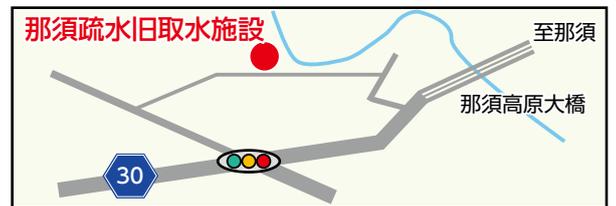


私のまちの  
**近い遺産**

指定を受けるのも大変なんです…

「那須疏水旧取水施設 (東・西隧道)」  
国指定重要文化財 追加指定ウラ話

平成28年11月5日号の広報なすしおばらに、那須疏水旧取水施設の「東・西隧道」が国指定重要文化財に追加指定となった記事が掲載されたのを覚えていますか？「近い遺産・第2回」は、皆さんおなじみの那須疏水旧取水施設にまつわるお話です。



Topic 1

附(ついたり)指定って何??

東・西隧道の追加指定と併せて、当時の建築図面などが「附(ついたり)指定」となっています。附指定とは、指定された文化財の歴史的な価値を証明するものとして指定されるものです。

Topic 2

開拓を今に伝える市民劇団!

創作劇「那須野の大地」を知っていますか。この劇を上演するためだけに結成された市民劇団「劇団なすの」による、笑いあり・涙ありの感動の物語。毎年少しずつ演出を変えていて、「以前見た」という人でも楽しめる内容です。劇中、隧道工場のシーンもあります。ぜひご覧ください。

「那須野の大地」公演

- ▶とき 9月17日(日) 午後1時・午後5時の2回開演
- ▶ところ 三島ホール
- ▶観覧料 無料(入場券が必要)



那須野の大地(市HP)

平成18年に国の重要文化財に指定された那須疏水旧取水施設には、当時未調査の部分がありました。平成26年度に第2次調査を実施し、未調査だった西隧道(トンネル)と東隧道の内部に潜入しました。現在は使われていない「隧道」という閉鎖的な空間であることに加え、水没しているエリアがあることなどから、事前に文書の調査や現地確認を行い、入念な準備を行いました。水没しているエリアの調査は、「水中文化遺産カメラマン」により実施。4回もの水中調査により、隧道内部の様子が分かりました。ちなみに、隧道内の水

位は那珂川の水位と関連があると、いう想定から、川の水位が低くなる時期に実施しましたが、水位が低くなるのは冬。凍り付くような冷たい水の中に潜るといって、過酷な調査になりました。こうした調査の結果、隧道がほぼ完全な姿で残されていることが判明し、東西の両隧道が追加指定されたのです。また今回の調査では、切石による美しいアーチや当時の先端技術であったセメントの導入など、明治期の土木技術の高さも知ることができました。先人たちの不屈の精神には頭が下がるばかりです。